

HRガイド

職場の犯罪リスク対策

～兆候を把握し予防に役立てる仕組みと運用法～

ベストブレイン(株) 代表取締役 堀 尚弘

■ コンプライアンス研修では防げない現実

不正融資、インサイダー、個人情報漏洩、贈収賄ほか、民間・公官庁を問わず役員・社員・職員らが関わる犯罪報道は途切れることを知らない。マスコミ報道にまでは至らなかった横領、窃盗、詐欺、痴漢、脅迫、暴力、ストーカー行為、薬物不正使用、あるいは未だ発覚していない犯行まで含めると発生状況は相当な数に上るだろう。いずれも、企業・機関の信用を著しく損ね、また組織の生産性を悪化させ、業績低下、場合によっては事業存続の危機にまで悪影響は及ぶ。少なくとも、社員・職員を預かり職場の秩序に責任を持つ人事部が職場の犯罪リスクに向き合うのは当然だ。一方で、企業・機関の事業目的は犯罪の取り締まりではないし、人事部の立場でできることも限られている。コンプライアンス研修を一通り実施するとしても、犯罪の発生状況を鑑みれば決定的な予防は困難だとも推察される。

そこで、本稿ではこの分野のプロのコンサルタントに、知見・ノウハウに基づく実効性のある職場の犯罪予防策を探っていただいた。性善説を前提にしつつも、犯罪を起こさせない、巻き込まれない環境を整備し、根気よく取り組んでいくのが基本のようだ。

(編集部)

CONTENTS

1 職場の犯罪と対策ノウハウの不在

2 職場の犯罪に関する根本的なリスク

- (1) “まさか”という思い込み
- (2) 計り知れない影響

3 職場の犯罪リスクを生み出す問題

- (1) 危機感の乏しさに関する諸問題
- (2) 犯罪発生メカニズムとKPIIによる予防

4 職場の犯罪の類型化とリスク管理の優先順位

- (1) 起きてはならない職場の犯罪
- (2) あってはならない職場の犯罪の原因

5 職場の犯罪の原因と対策

- (1) “兆候”という発想の欠如
- (2) 相談者の不在
- (3) 相談体制を強化する方法

6 職場の犯罪の予防・対応手段

- (1) 予防のポイント
- (2) 対応のポイント

7 社員を信頼し「性善説」で取り組む



■堀 尚弘

ビジネスコンサルタント。警視庁、上場企業等での勤務を経て2003年にベストブレイン(株)を創業。上場企業から学校法人、個人事業主まで規模・業種を問わず、社員不祥事の予防、暴力団排除を含むコンプライアンスの実践、震災対策等のリスク管理に関するコンサルティングを提供している。著書に『成功する会社が必ずやっているリスク管理』(幻冬舎ルネッサンス新書)がある。

■ベストブレイン株式会社

●〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 ダビンチ新宿ビル6F CROSS COOP
●TEL: 03-6794-2893 ●URL: <http://www.bestbrain53.com>